

図書館スタッフ 黒沢さん オススメ

9月のテーマ【真夜中の仕事】

おとな向け

「真夜中のパン屋さん」

大沼 紀子 / 著
ポプラ社

夜が深まり、暗闇に温かい明かりをともしようにオープンするパン屋『プランジェリークレバヤシ』。そこへ、訳あり女子高生の希実が居候することになって…。



オススメのポイント

パンの知識があらゆることにちりばめられ、個性的なキャラクター同士の交流が楽しく描かれています。パンが食べたくなる1冊です。

【問い合わせ】●市立図書館 ☎84・6151

今月の一冊

こども向け

「シルクハットぞくはよなかのいちじにやってくる」

おくはら ゆめ / 著
童心社

夜中の1時。黒いシルクハットと黒マント。何やら怪しい大勢のシルクハットぞく。彼らが向かった先はぐーぐーと寝ている男の子の部屋。すると、シルクハットぞくはすっと手を伸ばし仕事を始める…。



オススメのポイント

黒ずくめの格好で、空を飛び、家へ忍び込むシルクハットぞくの大胆さ。しかし、彼らの仕事はとても繊細です。優しい気持ちになれる1冊です。

FAX 83・6199 ●二宮図書館 ☎74・0286

健康コラム No.6

元気 アップ! 通信

ロコモを予防しよう!

ロコモティブシンドローム(ロコモ)とは、骨や関節、筋肉などの運動器が衰えた状態のことです。ロコモになると、転倒や骨折、関節疾患などのリスクが高まり、寝たきりや介護が必要になる恐れがあります。

あなたは大丈夫? 7つのロコモチェック

- 片脚立ちでは靴下が履けない
- 家の中で滑ったりつまづいたりする
- 階段を上る時は、手すりが必要
- 家のやや重い仕事が困難である(掃除機や布団の上げ下ろしなど)
- 2kg程度の買い物をして、持ち帰るのが困難である
- 15分くらい続けて歩くことができない
- 横断歩道を青信号で渡りきれない

※1つでも当てはまればロコモの可能性あります。

ロコモにならないためには、日頃からストレッチや運動をする習慣を身に付けましょう。

【問い合わせ】健康増進課 成人健康係
☎83・8122 FAX83・8619

社会福祉協議会だより

7月に寄付をしてくださった方々(敬称略)ありがとうございました。

善意銀行

物品預託

赤間 燈代	雑巾 155 枚
小倉 芳江	玄米 30kg
ハワイアンドリーム	タオル 100 本
真岡市退職公務員会	タオル 516 本



【申し込み・問い合わせ】
社会福祉協議会 ☎82・8844 FAX82・5516

あの日 あのコ

第365回

あきやま せつこ
穂山 節子さん

(台町在住・85歳)



▲自身で仕立てた着物を着た52歳頃の穂山さん

私は昭和7年に台町で生まれました。中学校を卒業した後は、体が弱かったので進学はせず、手に職を付けるため、何か習い事をしたいと考えていました。そんな時、近所の呉服店から北真岡にある和裁の先生を紹介され、興味を引かれて16歳から通い始めました。先生の下で5年間、和裁の基礎を学び、はんでんや着物など日常生活で着るものを仕立てました。その後は、振り袖や袴など、普段使い以外の和裁の



仕立てる着物に心を込め...

技術を学びたいという思いから、先生に紹介された東京の呉服店で、1年間住み込みで修行を始めました。そこでは、1日1枚の裕を仕立てるまで仕事は終わらず、毎日眠気を抑えて、深夜まで作業を続けました。また、先生の作業を見て技術を覚えなくてはならず、常に気が抜けない日々でしたが、技術を習得したいという一心で必死に修行に励み、無事に終えることができました。昭和26年の計量法の公布により、それまでの寸、尺などの表示がメートル表示に統一されることとなり、新たな採寸方法に対応するため、東京の渋谷にある和裁の専門学校で1年間勉強をしました。学校を修了し、23歳の時に真岡市に戻った後は、呉服店から請け負った仕事をしていました。そんな中、大きな仕

事の依頼が入りました。それは、後に真岡市長となる岩崎純三氏の妹さんの結婚式にあたり、花嫁衣裳の振り袖を仕立ててほしいというものでした。初めての振り袖の依頼に緊張しましたが、素晴らしい着物で晴れの舞台に立ってほしいという気持ちで2日間、深夜まで縫い続けました。やっとの思いで完成した時は、初めて1人で振り袖を仕立て上げた達成感とうれしさで感無量でした。その後、近所の方から和裁を教えてほしいと頼まれ、25歳の時に和裁教室を開きました。生徒は、近所の方や病院の寮で暮らす看護婦さんなどが中心で、単衣や袴の仕立てを中心に教えていました。60歳の時に体調を崩してしまい、教室を閉めました。今でも当時の生徒たちが家に遊びに来てくれます。また、近くに住んでいる息子夫婦がとても良くしてくれ、毎日幸せに暮らしています。

消費生活センターメモ

シリーズ 411

副業のもうけ話に注意

【事例】インターネット上で「副業」を検索したところ、「初心者でも副業で1カ月100万円の収入」とあったので、気軽に2万円の情報商材を購入した。すると、業者から電話がかかってきて「毎日簡単な作業で必ずもうかる。稼げなければ返金保証付き」と力説されたので、さらに30万円の情報商材をクレジットカード決済で購入した。しかし、情報商材を見ると、もうかるとは思えない。返金してほしい。 「情報商材」とは、インターネットの通信販売等で売買される、もうかる話や内職などのノウハウのことです。情報自体が商品となります。 どのような情報が得られるかは購入してみないと分からないため、「必ずもうかる」「返金保証付き」等の広告を見て購入したもの、 「収入になるような内容ではなかった」「解約を求めたが、業者の態度が強硬で応じてもらえない」などの相談が寄せられています。 また、業者からの電話勧誘で契約したにもかかわらず、「ネットで申し込みをしただけで通信販売」と言い、クーリング・オフを認めない業者もいます。 情報商材の広告は「簡単に」「短時間で」「必ずもうかる」を強調し、手早く稼ごうとする心理に付け込んでいます。副業のもうけ話はうのみにせず、冷静に判断しましょう。

ご相談は、消費生活センター(青年女性会館内) 毎週 月～金曜日 9:00～12:00 13:00～16:00 ハナシテナヤミナシ ☎84-7830 相談料無料

